

31フィートオートフロア装置付きコンテナ

生産本部 和歌山事業所



図1 製品外観

1 はじめに

当社の31フィートコンテナは、妻一方開きコンテナであり、荷物の積み込み・積み降ろし作業は、主に下記方法によるものである。

- (1) コンテナ室内を、小型フォークリフトで運搬する。
- (2) コンテナ室内に、ローラコンベアを敷く。
- (3) 手積み、または車輪付きパレットを人力で運搬する。

このような作業の問題点は、作業に時間がかかったり、作業者の安全確保に不安があった。

これらを解消するために、付加価値を付けたコンテナの開発を、急務としておこなう必要がある。

2 構造および特長

上記の問題を解決するため、直接作業者が荷物の運搬をすることなく、積み込み・積み降ろしができる装置を探求し、トラックで使用実績のある、ナカオ工業（株）のオートフロア装置をコンテナに組み込んだ。

概略構造は、コンテナ前面に電気モータを配置し、チ

ェーン駆動で、妻開き戸付近にある回転軸を介して上下2段になった床（荷台）を動かす構造である。

また、オートフロア装置を駆動させるための電源は、トラックのバッテリーから供給される。

3 主要諸元

全長	9410mm
全幅	2490mm
全高	2641mm
内法長さ	9140mm
内法幅	2392mm
内法高さ	2313mm
内容積	50.56m ³
コンテナ質量	4900kg
	(オートフロア装置1450kg含む)
積載質量	15100kg
総質量	20000kg
コンベア速度	3.6～4.3m/min

(中村武嗣 記)



図2 オートフロア装置（荷物積み込み前状態）



図3 オートフロア装置（荷物積み込み後状態）



図4 電動モータおよび制御盤

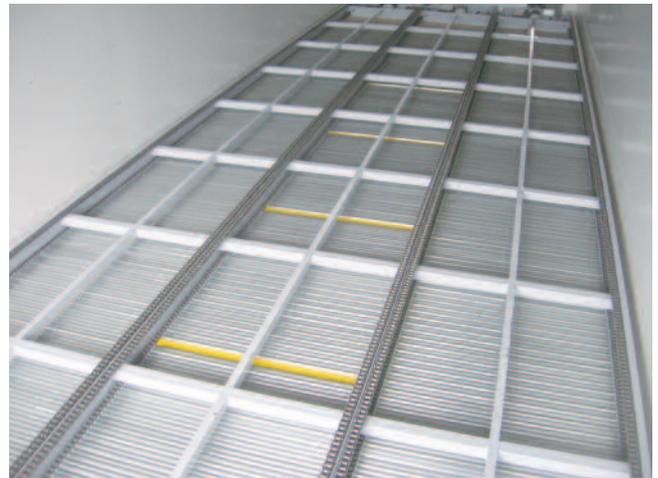


図5 床（チェーンコンベアの下）



図6 電源供給コンセント



図7 操作ボタン